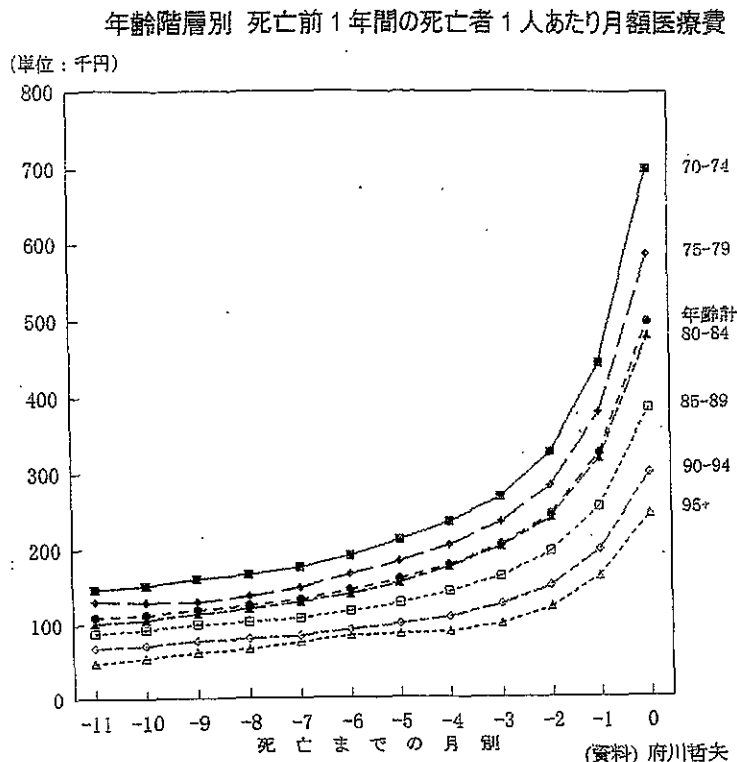


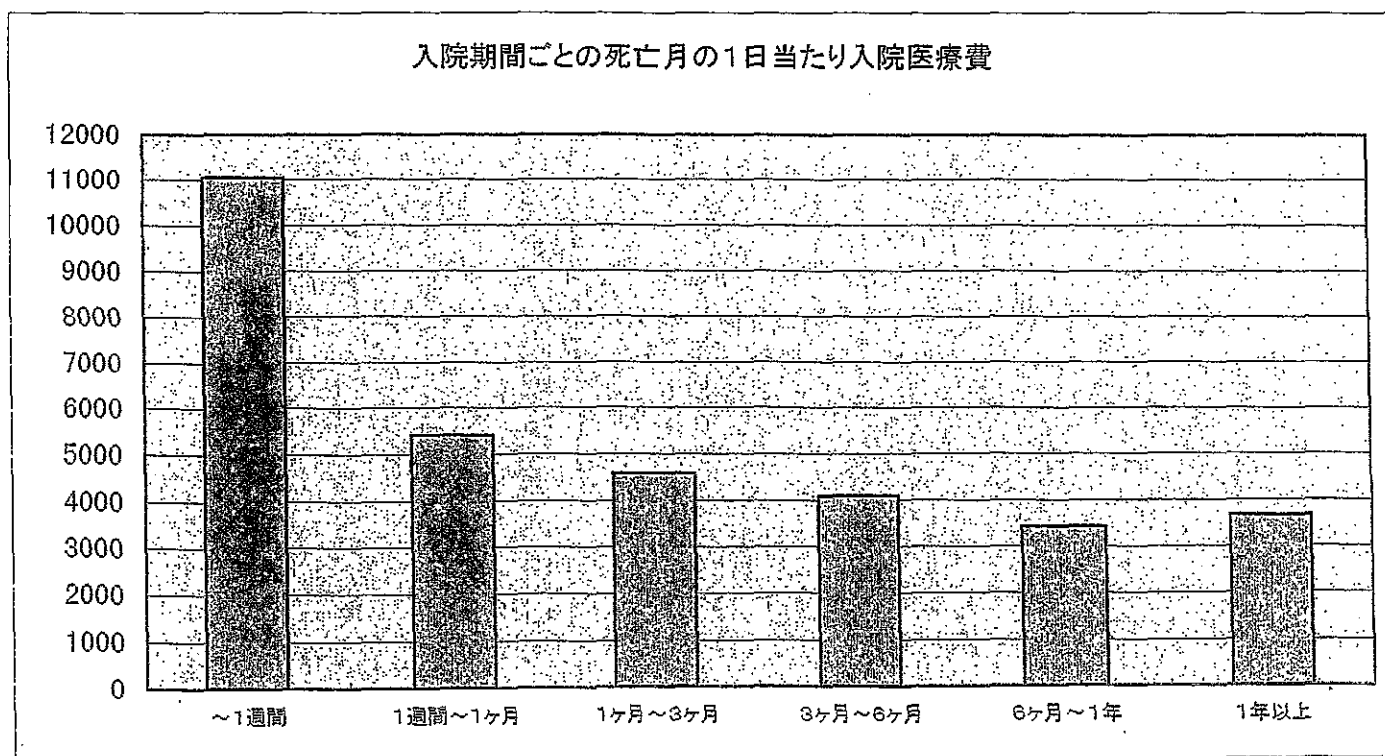
終末期における医療費

終末期におけるケアに係る制度及び政策に関する研究
(財)医療経済研究・社会保険福祉協会より抜粋

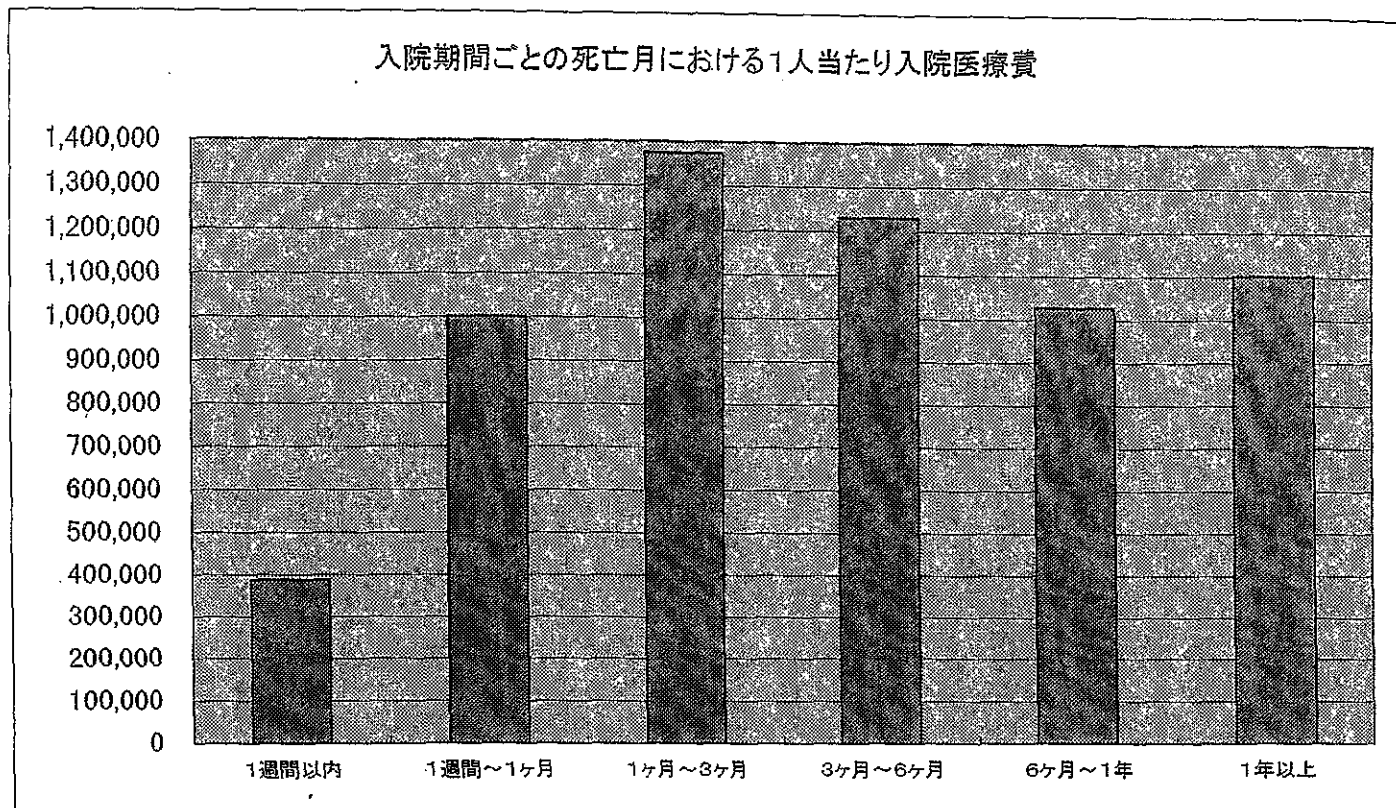
○ 死亡月における医療費は、6ヶ月前の3.4倍



○ 死亡月の1日当たり医療費は、入院期間が長い患者ほど低くなる傾向にある。



○ 死亡月における1人当たり入院医療費は、入院期間が1週間を超えると高くなる傾向にある。



○ 死亡前1ヶ月間の入院医療費は7,859億円、入院医療費総額(約10.8兆円)の7%程度(平成9年度)

	1週間以内	1週間~1ヶ月	1ヶ月~3ヶ月	3ヶ月~6ヶ月	6ヶ月~1年	1年以上
人数	102,157	136,557	170,956	130,302	83,393	116,751
期間	3.5	18.5	30	30	30	30
1日当たり平均点数	11,058.1	5,408.0	4,581.3	4,101.8	3,428.4	3,673.1
1人当たり入院医療費	387,034	1,000,476	1,374,399	1,230,526	1,028,520	1,101,934
総額	395	1,366	2,350	1,603	858	1,287

「総額」合計(1週間以内~1年以上):7,859億円

終末期における医療費関係資料

「老人医療と終末医療に関する日米比較研究報告書」(平成6年3月)

財団法人 長寿社会開発センター より抜粋

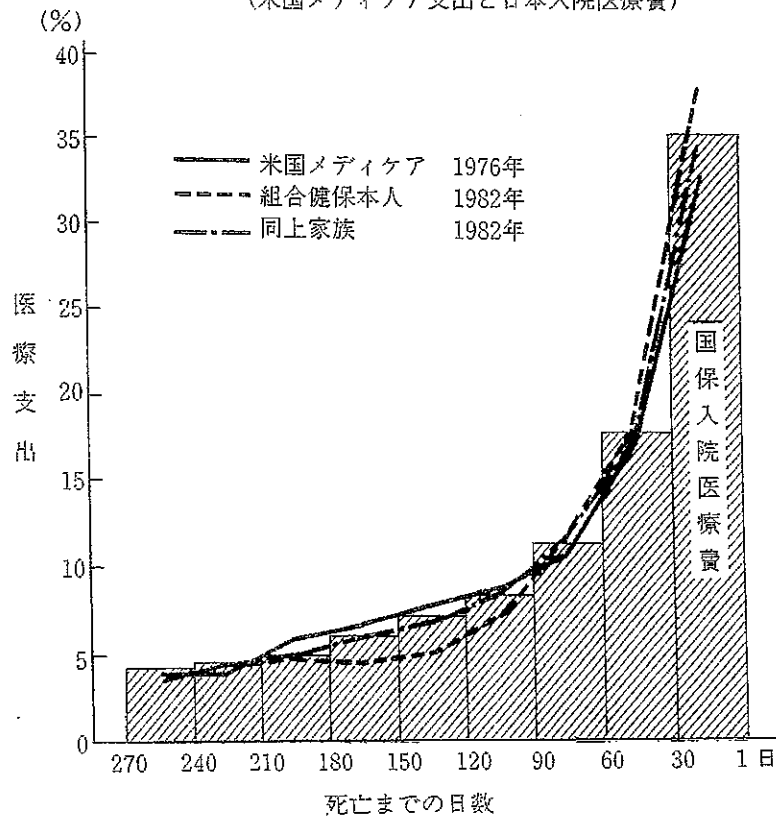
- メディケア受給資格者1人当たりでみて、死亡前1年間の医療費は、生存者の約6倍となっている。
- 死亡までの日数別にみると、日米ともに死亡日に近づくほど医療支出が大きくなる。

死亡前1年間のメディケア利用 (1978年)

	生死の別		倍率
	死亡者	生存者	
受診率(%)	92	58	1.6
受診者1人当たり メディケア支払額	\$4,909	\$1,253	3.9
受給資格者1人当たり メディケア支払額	\$4,527	\$729	6.2

資料) Lubitz and Prihoda (1984)

死亡までの日数別医療支出の日米比較
(米国メディケア支出と日本入院医療費)



出所) 前田 (1987)